

# 決算説明会

2015年3月期第3四半期

2015年2月3日  
ミネベア株式会社

**1Q-3Q累計の売上高、営業利益、  
経常利益、純利益は過去最高**

(百万円)	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比 伸び率
	1Q - 3Q累計	1Q - 3Q累計	
売上高	277,934	361,961	+30.2%
営業利益	23,316	43,842	+88.0%
経常利益	20,121	43,235	2.1倍
純利益	15,880	30,980	+95.1%
一株当たり 純利益(円)	42.56	82.91	+94.8%

為替レート	14/3期	15/3期
	1Q - 3Q累計	1Q - 3Q累計
US\$	98.54円	105.80円
ユーロ	130.70円	139.83円
タイバーツ	3.19円	3.27円
人民元	16.06円	17.10円

2015年2月3日

1

2015年3月期第3四半期累計の連結業績は、前年同期に比べ売上高が30.2%増加し3,619億6千1百万円、営業利益は88.0%増加し438億4千2百万円、純利益は95.1%増加し309億8千万円となりました。

当社は2002年3月期からの四半期連結決算を開示していますが、第3四半期累計期間については売上高、営業利益、経常利益および純利益で過去最高を更新しました。

電子機器事業の売上高が736億円の大規模な増加となりましたが、機械加工品事業でも100億円の増加となりました。

需要増加に加えて為替も追い風となっており、売上高で前年同期比プラス212億円、営業利益で前年同期比プラス81億円の影響があったと推計しています。

**3Qの売上高、営業利益、  
経常利益、純利益も過去最高**

(百万円)	2014年3月期		2015年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	3Q	2Q	3Q	3Q		
売上高	97,135	117,025	145,403	+49.7%	+24.2%	
営業利益	10,312	14,237	19,080	+85.0%	+34.0%	
経常利益	8,370	14,162	18,599	2.2倍	+31.3%	
四半期純利益	7,107	10,985	13,163	+85.2%	+19.8%	
一株当たり 四半期純利益(円)	19.04	29.40	35.22	+85.0%	+19.8%	

為替レート	14/3期3Q	15/3期2Q	15/3期3Q
US\$	99.56円	102.65円	112.34円
ユーロ	135.53円	137.62円	141.29円
タイバツ	3.16円	3.20円	3.45円
人民元	16.31円	16.60円	18.30円

2015年2月3日

2

2015年3月期第3四半期の連結業績は、売上高は前年同期比で49.7%増、前四半期比で24.2%増の1,454億3百万円、営業利益は前年同期比で85.0%増、前四半期比で34.0%増の190億8千万円、純利益は前年同期比で85.2%増、前四半期比で19.8%増の131億6千3百万円となりました。

第2四半期に売上高、営業利益、経常利益および純利益で四半期としての過去最高を更新していましたが、第3四半期はこの4つの数字を更に大きく更新しました。

この主要因は、LEDバックライトでの超薄型スマートフォン市場の成長と当社のシェア上昇による大幅な売上高と利益の伸びです。加えて、ボールベアリングの世界的な需要増加、複合製品および計測機器の活況等、様々な事業が堅調に推移しました。

為替も大きくプラスに効いており、売上高で前年同期比プラス130億円、前四半期比プラス98億円の影響があったと推計しています。営業利益では前年同期比プラス35億円、前四半期比プラス22億円の影響があったと推計しています。

# 売上高

四半期推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision



第3四半期の売上高は、前四半期比24.2%増の1,454億円となり、四半期としての過去最高を3四半期連続して更新しました。また、前年同期比の増収は、11四半期連続です。

# 営業利益

四半期推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision

**3Q営業利益、営業利益率は  
過去最高を大きく更新**

前年同期比 +85.0%  
前四半期比 +34.0%

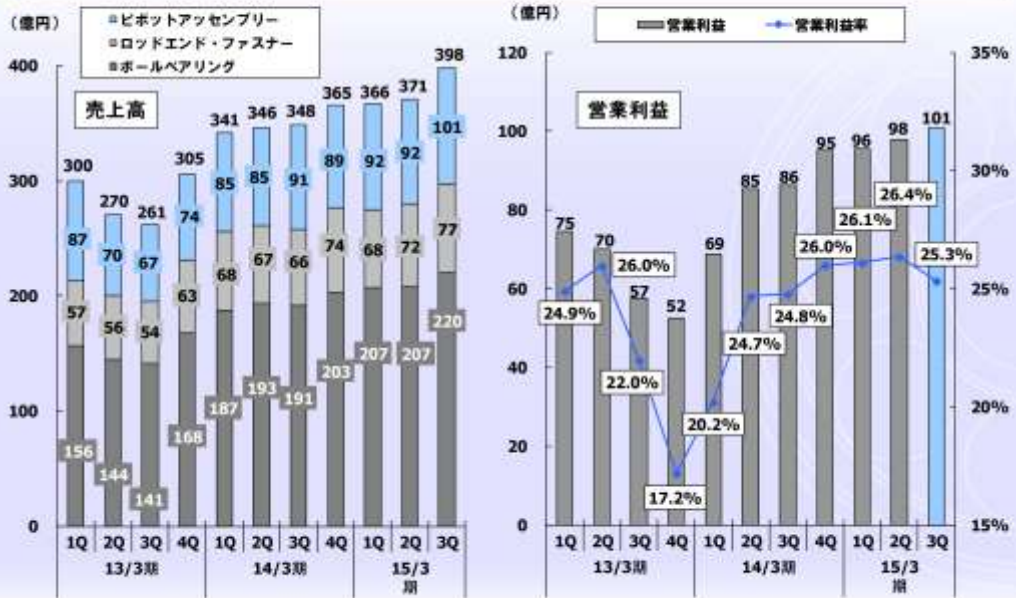


2015年2月3日

4

第3四半期の営業利益は前四半期から大きく増加し191億円と、過去最高だった第2四半期の記録を大幅に更新しました。営業利益率は0.9ポイント改善し、ついに13.1%となり、こちらも四半期としての過去最高を更新しました。また、前年同期比での営業増益は6四半期連続です。

初めて機械加工品の営業利益が100億円超え



2015年2月3日

機械加工品事業セグメントの第3四半期の業績は、前四半期比では、売上高は7.3%増の398億円、営業利益は3.1%増の101億円、営業利益率は1.1ポイント低下し25.3%と、高水準を維持しました。なお、機械加工品事業の営業利益で100億円を超えたのは初めてです。

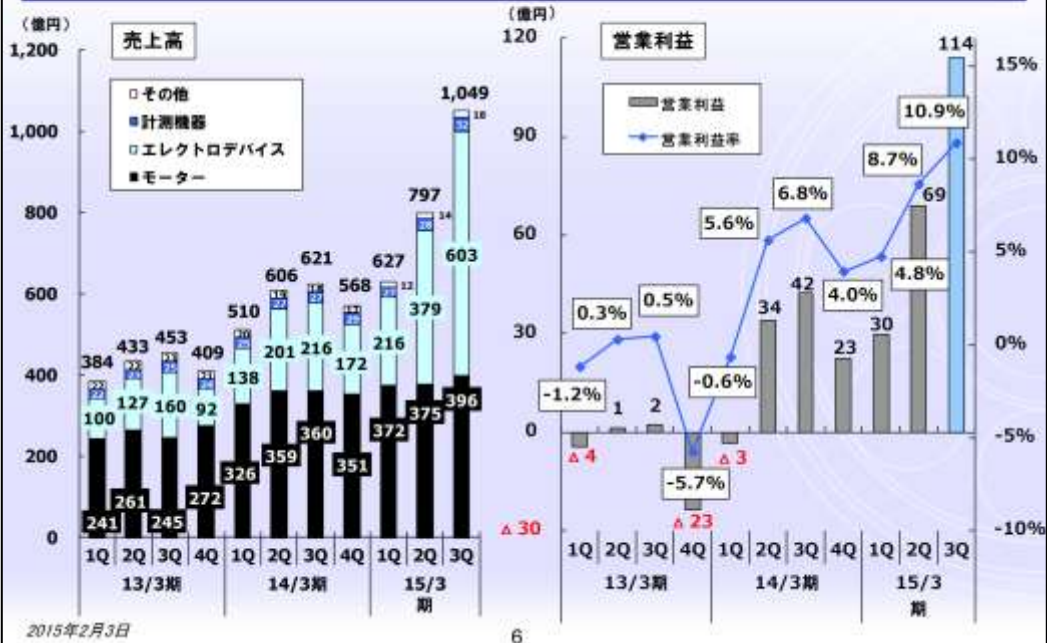
一方、前年同期比では売上高で14.3%増、営業利益では16.9%増となりました。

ボールベアリングの売上高は、前四半期比6.3%増の220億円となりました。前年同期比で堅調な需要の伸びが続いており、外部販売数量の月次平均は1億4千500万個と、高い水準を維持しました。1～3月も外販を中心に堅調な需要が続く見込みです。

ロッドエンド・ファスナーの売上高は、前四半期比6.9%増の77億円となりました。世界の民間航空機生産の増加が続いており、収益性も改善しました。

ピボットアッセンブリーの売上高は、前四半期比9.8%増の101億円となりました。サーバー向けHDD需要が想定以上に好調で、当社は高い市場シェアと生産性を生かして利益を増やすことができました。

## 初めて機械加工品の営業利益を上回る



電子機器セグメントの第3四半期売上高は前四半期比31.7%増の1,049億円、営業利益は前四半期比65.4%増の114億円となりました。営業利益率は2.2ポイント上昇し10.9%となりました。今の事業セグメントに変更して以降、初めて電子機器事業の営業利益が機械加工品事業の額を上回りました。

モーターの売上高は、前四半期比で21億円増加しました。各モーター毎に状況は異なるものの、モーター全体では自動車向けを中心に堅調に推移し、収益性を維持しています。今後もコスト削減施策を中心に更に収益改善を進めます。

エレクトロデバイスの売上高は、LEDバックライトが需要期を迎えたことに加え、複合製品の順調な売上拡大もあり、前四半期比59.1%増の603億円となりました。LEDバックライトは、例年は需要期が過ぎて売上が下がり始める12月も力強い需要があり、第3四半期は毎月、月次の最高売上高を更新しました。1~3月も、顧客からの強い需要に加え顧客層を拡大してきた効果もあり、例年ほどの落ち込みはない見込みです。

計測機器の売上高は、自動車向けを中心に出荷が伸び、前四半期比14.3%増の32億円となりました。今後、第4四半期に完了予定のザルトリウス・インテック買収からのシナジー追求に取り組んでまいります。



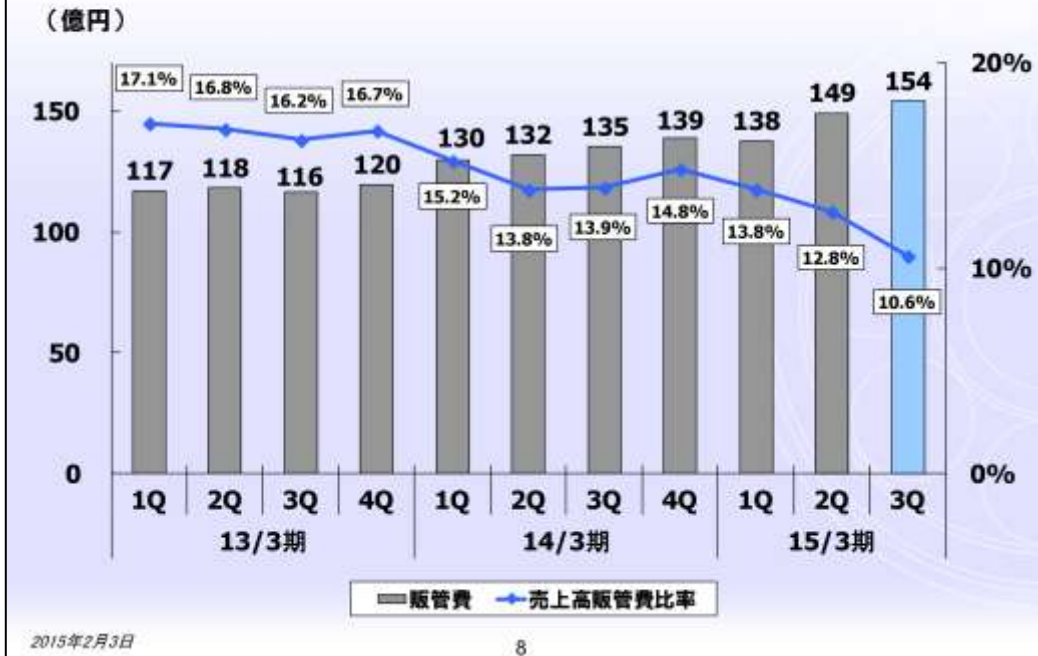
第3四半期の純利益は、営業利益の増加を受けて、前四半期比19.8%増の132億円となりました。主な特損としては、韓国での独占禁止法関連損失5億円、製品補償損失4億円がありました。一株当たり純利益は35.2円となりました。前年同期比での純利益の増加は7四半期連続です。



# 販管費

四半期推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision

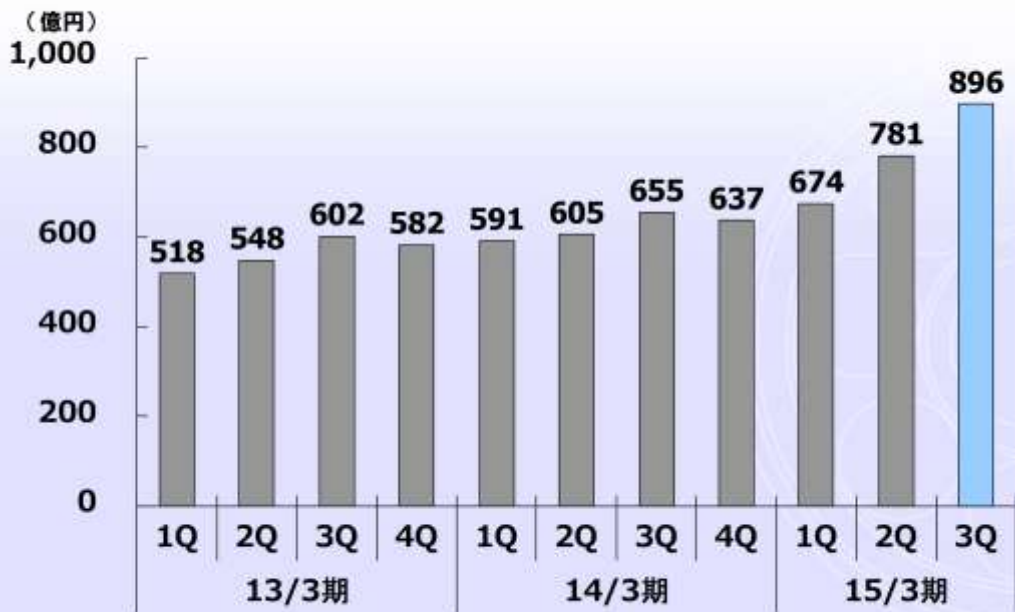


販管費は前四半期比5億円増加し、154億円となりました。一方、売上高販管費比率は大幅に低下し、前四半期比で2.2ポイント減の10.6%となりました。これは、円安により円ベースの販管費の比率が縮小したことが大きな要因で、今後も低い水準が継続すると見込まれます。

# たな卸資産

四半期推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision



2015年2月3日

9

第3四半期期末のたな卸資産は115億円増加し896億円となりました。これは、売上増加に伴う影響に加え、為替変動の影響額がプラス62億円あったためです。

# 設備投資額・減価償却費

年推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision



2015年2月3日

10

第3四半期累計の設備投資は244億円、減価償却費は206億円でした。

今期の設備投資は、LEDバックライトやボールベアリング等の能力増強のほか、事業の強靱化等に向けた投資のため、例年より大きくなっています。

減価償却費については、投資の増加に加え、LEDバックライトで償却期間を短縮した影響や円安の影響もあり、300億円と高い水準になる見込みです。

# ネット有利子負債

年推移

Minebea  
Passion to Exceed Precision



このグラフは、有利子負債総額から現預金を差し引いたネット有利子負債の推移です。

第3四半期末におけるネット有利子負債は1,009億円と、前期末比90億円の減少となり、着実な低下を続けています。第3四半期累計のフリーキャッシュフローは156億円のプラスとなりました。

今期末におけるネット有利子負債は950億円と、ザルトリウスインテックの買収および設備投資の増加等により、昨年11月時点の見込みより減少幅が小幅にとどまる見込みです。フリーキャッシュフローは214億円のプラスとなる見込みです。

## 7回連続で予想を上回る四半期業績達成と 4Qの旺盛な需要を勘案し、今期3度目の上方修正

(百万円)	2014年3月期		2015年3月期			
	通期	10-30累計	4Q 予想	通期 修正予想	通期予想 前期比	通期 11月計画
売上高	371,543	361,961	128,039	490,000	+31.9%	460,000
営業利益	32,199	43,842	14,658	58,500	+81.7%	50,000
経常利益	28,065	43,235	13,765	57,000	2.0倍	48,000
純利益	20,878	30,980	5,020	36,000	+72.4%	31,000
一株当たり 純利益(円)	55.94	82.91	13.42	96.33	+72.2%	82.96

為替レート	14/3期 通期	15/3期 10-30平均	15/3期 4Q想定	15/3期 通期想定	15/3期 通期11月想定
US\$	99.76円	105.80円	118.00円	108.85円	102.26円
ユーロ	133.38円	139.83円	147.00円	141.62円	139.05円
タイバツ	3.18円	3.27円	3.60円	3.35円	3.19円
人民元	16.28円	17.10円	19.30円	17.65円	16.65円

2015年2月3日

12

これは、今期2015年3月期の業績予想をまとめたものです。

第3四半期には7回連続で予想を上回る四半期業績を達成したことに加え、第4四半期は、昨年11月時点の想定を上回る旺盛な需要が見込まれることを勘案し、今期3度目の通期業績予想の上方修正をします。昨年度は売上高と純利益で過去最高を更新しましたが、今期は経常利益についても1998年3月期の記録を更新する見込みです。

事業別には、LEDバックライトで引き続き強い需要が見込まれるほか、ボールベアリングの外販も堅調な需要が続くと見込まれます。加えて、モーター、ピボットアセンブリー、計測機器、複合製品などの収益改善により大幅な業績拡大を見込んでいます。

## セグメント別業績予想

(百万円)	2014年3月期		2015年3月期			
	通期	10-30累計	4Q予想	通期修正予想	通期予想前期比	通期11月計画
売上高	371,543	361,961	128,039	490,000	+31.9%	460,000
機械加工品	140,032	113,463	40,037	153,500	+9.6%	148,000
電子機器	230,514	247,285	87,215	334,500	+45.1%	310,000
その他	996	1,211	789	2,000	2.0倍	2,000
営業利益	32,199	43,842	14,658	58,500	+81.7%	50,000
機械加工品	33,550	29,410	10,290	39,700	+18.3%	38,300
電子機器	9,581	21,302	6,998	28,300	3.0倍	21,200
その他	866	905	195	1,100	+27.0%	800
調整額	Δ11,799	Δ7,776	Δ2,824	Δ10,600	-10.2%	Δ10,300

2015年2月3日

こちらは、各事業セグメント別の修正予想です。

# ミネベア株式会社

## 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。